

一 般 質 問 通 告 書

2024年11月22日

前

午後0時22分 受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 11 月22日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 神谷里枝



質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答	<input type="checkbox"/> 一括の質問答弁
番号	主 題		
1	花と緑のあふれるまちづくりについて		
2	鷺津幼稚園の今後について		
3			
4			
5			

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	花と緑のあふれるまちづくりについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市では花と緑による環境美化を促進し潤いのある豊かな暮らしを創出する目的で「花と緑のまちづくり推進事業」に取り組んでいます。</p> <p>花苗の供給、資材や情報の提供など「こさい花いっぱい運動推進協議会」の活動支援という事で、令和3年度決算では花と緑のまちづくり推進費事業費 1,259 千円と育苗施設管理運営費 11,039 千円支出されています。更には新居地域協働まちづくり事業として、フラワーロード等公共花壇植え替えが 779 千円程支出されており、合算しますと 13,077 千円程になります。</p> <p>総合計画に、「地域の花の会や公共施設等の花壇において育てる花苗を定期的に配布するため、育苗施設の効率的な運営を実施する」と記載されており、事務事業評価の育苗施設における令和3年度目標本数の 32 万本はほぼ達成されており、必要性、有効性、効率性すべて A 評価となっております。花苗を育てることは障害者就労支援もあり継続的に行われていますが、実際に花壇に定植するなどの維持管理体制への対応策は手薄の様な気がします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>花の会の会員の高齢化などにより、花壇数が減少し花苗の配布本数が伸び悩む可能性も推測され、公共花壇の維持ができなくなることも懸念されます。そこで今後の「花と緑のまちづくり推進事業」への対応策を伺います。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. こさい花いっぱい運動推進協議会の管理団体ごとの公共花壇の箇所数、面積、会員数と課題を伺います。 2. こさい花いっぱい運動推進協議会には約 10 万円の補助金支出があり、新居地域協働まちづくり事業における公共花壇植え替えに 779 千円の委託料が支出されているが、同じ公共花壇等の管理であるのに 	

補助金と委託金で扱いが異なる理由と、今後の事業の在り方について伺います。

3. 会員の高齢化により、花壇数が減少し花苗の配布本数が伸び悩み、ひいては公共花壇の存続が危ぶまれることを鑑み、今後の育苗施設の運営方針を伺います。
4. 花と緑による環境美化を促進し潤いのある豊かな暮らしを創出するため、人的交流を図れるフラワースポットやシンボル花壇を作ってはどうかと思いますが市のお考えを伺います。
5. 浜名湖に面し富士山が見え素晴らしいシチュエーションの表鷲津湖岸公園などに更に桜の木などを増殖し、市の魅力のアップにつなげてはと思いますが市の方針を伺います。
6. 湖西運動公園に育苗施設で育てた花苗は勿論の事、市の花のくちなしの花や特産のこでまりを植えたり、カフェを誘致したりして、湖西市の魅力・観光スポットにしてはどうかと思いますがお考えを伺います。
7. 花と緑による環境美化を促進し潤いのある豊かな暮らし、花と緑あふれるまちづくりを推進するため、花の会会員の高齢化などを鑑み、この先もボランティア団体などに依存していくのか、花と緑あふれるまちづくり推進のための今後の方針・方策を伺います。

番号	主 題
2	鷺津幼稚園の今後について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>6月定例会では鷺津校区における幼児教育・保育について質問させて頂き、公立幼稚園としては存続させるのご答弁を頂きましたが、園児数の減少と共に、施設の空きスペースが増える事も予測されます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>公共施設再配置基本計画において「2016年度（平成28年）から30年間（令和27年度）で総延べ床面積20%の縮減を目標とし、集約化、複合化、多機能化によって拠点性を高めるとともに、新しい交流の場とするなど、新たな価値を作り出す」と謳われていることを踏まえ、市全体を見まわした中での有効活用を検討して頂きたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今後の鷺津幼稚園の園児数の推移（見込み園児数）を伺う。 2. 園児数の減少が予測される中、空き教室などの有効活用をどの様に検討されているのかお伺いします。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和4年 11月 22日

前

午後 0時37分 受付



下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 11月 22日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 荻野利明



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	補聴器購入に助成制度を！
2	教職員多忙化の改善は。
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	補聴器購入に助成制度を！
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>高齢化社会が進むにつれ、難聴を訴えるお年寄りが増えています。難聴になるとなかなか会話も成立せず、外に出ることをためらうようになります。補聴器は認知症を予防する可能性が高いことも複数の医療関係者の検証により明らかになっています。</p> <p>前回（令和3年12月定例会）質問した時点より県内での助成制度導入自治体は増え、現在、藤枝市、焼津市、磐田市、長泉町、富士宮市の5自治体で助成制度が設けられ、お年寄りに喜ばれています。補聴器はさまざまな値段で販売されているようですが、自分に合う補聴器となると結構高価な値段になるようです。</p> <p>高齢者が生きがいある老後を過ごせるよう補助制度が必要と考えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>補聴器の購入には、高価なものだと1台（片耳）でも数十万円かかる場合があります、高齢者にはなかなか手が出ません。耳が聞こえるということは、地域コミュニティへの参加を促し、認知症を予防することが期待できます。お年寄りが生きがいある老後を送れるように助成制度を創設していただきたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 難聴になると会話も成立せず、外に出ることをためらうようになる。補聴器は認知症の予防になる可能性が高いと考えるが、このことについて、どう認識しているか。 2. 障害者手帳の有無に関わらず、市内にどれだけの難聴者がいるのか確認しているか。 3. 難聴のお年寄りを認知症にならないようにするのも市の重要な仕事です。助成制度を創設する考えはないのか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	教職員多忙化の改善は。
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>教職員の長時間労働は、非常に重要な課題として改善する必要があると考える。教職員が忙しくては、一人ひとりの子どもたちに行き届いた教育を実現することはできません。</p> <p>今、いじめや不登校などの多様な問題を抱える教育現場では、一人ひとりの子どもたちに行き届いた教育が出来ているとは思えません。子どもたちにも教職員にもゆとりある学校教育が必要と考える。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>教職員にゆとりがなければ、一人ひとりの子どもたちに行き届いた教育は出来ないと考える。湖西市においても教職員の多忙化の改善を願うため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市内小中学校における、教職員の残業時間、休日出勤の状況は。 2. 長時間労働をどのように考えているのか。 3. 教職員の長時間労働・休日出勤をどう解決していくのか伺いたい。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 11 月 22 日

前

午後 4 時 50 分 受付



下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 11 月 22 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 瀧本 幸夫



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	市の魅力発信による移住促進について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市の魅力発信による移住促進について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>今回はテレビ放送でも取り上げられて全国的にトレンドになっている移住について、当市の考えを伺います。</p> <p>移住促進については、当市においても近未来に抱えている問題である人口減少の解消の一手であると思われまます。</p> <p>移住してもらうためには自分に合った仕事があり、人間関係が充実し、子育ての環境が整っていることが望ましい条件であります。</p> <p>それらの環境を整え、住んでよかったと思えるような市にしていくことが移住の促進にもつながると考えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>現状の取組みを確認するとともに、移住促進のための施策を住民・行政で論議し一体となって実施することができるような取組みを提案します。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 移住促進に向けてどのようなプロモーションを行っているのか。また、どのようにして移住につなげていくのか。 2. 当市の恵まれた大自然（海・山・湖）を体験するツアーを地域ごとに発案し、行政と共に実施することで地元の特色をアピールし市の魅力を発信していく考えはどうか。 3. 移住を促進していく上でも大きな課題である臭気の解決策を伺う。 4. 住んでよかったと思えるように、また、住みやすさを向上させるための職住近接の取組みについて、市の考えを伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 11 月 24 日

午前 8 時 31 分 受付
後

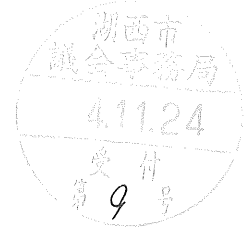
下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 11 月 24 日

湖西市議会議長 馬場 衛様

湖西市議会議員 中村 博行^印

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	給食センターについて
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	給食センターについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市学校給食施設整備計画をもとに、湖西市の各学校の給食をまとめて調理できる給食センターの整備について、民間の技術と資金が活用できる「PFI」方式で進めています。湖西市学校給食施設整備基本計画では、従来の方式と比べPFI方式の方がどれだけ総事業費を削減できるかを示す割合であるVFMが3%（概算事業費1.5億円の削減）あるとあります。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>PFI方式の全容の確認のため、この算定根拠と、これをどのように活かすか伺いたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 給食センターPFI方式を採用した根拠を確認するため、VFM（3%、1.5億円削減）の積算根拠（従来方式とPFI方式の比較結果）を伺います。 2. PFI方式で事業を施行するにはSPC（特別目的会社）と15年間契約をすることとなっていると思いますが、その運営について伺います。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設整備工事で資金が短期間で大金が必要となるが、市の財政負担の見込みを伺います。 (2) 要求水準内容を伺います。 (3) 市が負担する給食センターの運営管理にかかる経費について内容を伺います。 (4) PFI方式とした後、市にはどのような業務が残るか伺います。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和4年11月24日

前
午9時 4分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年11月24日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 高柳達弥



質問方式 (○を付ける)	<input type="checkbox"/> 一問一答 • <input type="checkbox"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市の空き家対策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市の空き家対策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成30年に住宅・土地統計調査結果(総務省統計局)では、湖西市内の空き家は約3,500戸で空き家率は、13.7%で平成20年より0.8ポイント増加している。住宅数25,730戸に対し世帯数は、22,070戸で住宅ストックは充足しているが新築住宅の増加の一方空き家数も増えている。その中でも利用目的のない一戸建て空き家は1,430戸で平成20年より630戸、1.1ポイント増加し、着実に空き家が増加している。このため、空き家の抑制対策により空き家の安心・安全の確保、予防の推進、活用促進による総合対策によってまちづくりの根幹となる職住近接を更に進めるため。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>空き家の増加傾向のなか適切な管理等により発生の抑制や利活用によって住宅環境を整備し、地域の活性化を図るため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西市の空き家の現状と空き家となる要因・実態について伺う。 2. 空き家の維持管理・利活用・処分等の相談状況を伺う。 3. 空き家発生の抑制を図るために、どのような施策、対策を進めているのか伺う。 4. 空き家バンク設置の効果と利用促進策について伺う。 5. シルバー人材センターと令和2年11月に市と締結した「空き家等の適正な管理の推進に関する協定」の現在までの対応状況など実情を伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること